

2023年11月30日

お知らせ

ジェットスター・アジア航空

ジェットスター・アジア 沖縄(那覇)＝シンガポール線の運航を本日再開！

～那覇空港とチャンギ国際空港間の唯一の直行便～



ジェットスター・アジア航空(本社:シンガポール、最高経営責任者(CEO):バラタン・パスパティ、以下:ジェットスター・アジア)は、本日、約3年8か月ぶりに沖縄(那覇)＝シンガポール線の運航を再開しました。本路線は、魅力的な沖縄とライオンシティ・シンガポール間を結ぶ唯一の直行便となります。

161人のお客さまをのせたエアバスA320型機は、今朝、那覇空港を出発しました。当路線は、先週11月24日に運航再開した大阪(関西)＝マニラ＝シンガポール線に続き、ジェットスター・アジアにとって2番目の日本路線です。週3往復で運航を開始し、年間の提供座席数は54,000席以上となる予定で、日本＝シンガポール間の旅行需要のさらなる活性化に貢献します。

ジェットスター・アジアのCEOであるバラタン・パスパティは次のようにコメントしています。「シンガポールや東南アジアのお客さまにとって人気の高い沖縄への路線を復活できて、大変嬉しく思います。

当社が提供する低運賃の空の旅により、より多くのお客さまに沖縄のすばらしいトロピカルパラダイスを体験できる機会を提供します。手つかずのビーチやおいしい食事、ユニークな文化体験など、沖縄はリラクゼーションと冒険の両方を求める人にぴったりです。

多くのお客さまにとって、日本は依然として訪れたい国の上位にあります。当社は乗り継ぎの利便性を高めながら路線網を拡大し、お客さまが旅を通じてすばらしい思い出を作ることができるよう全力を尽くしてまいります。

また、象徴的なアトラクションや多様なアクティビティで知られるシンガポールに容易にアクセスできるようになり、日本のお客さまのワクワクがさらに大きくなることを期待しています」

沖縄県シンガポール事務所の池原平所長は次のようにコメントをしました。
「コロナ禍の影響で約3年8ヵ月間運休していた那覇＝シンガポール線がいよいよ再開され、その初便の到着を心待ちにしていました。本路線の再開に尽力してくださったジェットスターおよび日本政府観光局(JNTO)に心よりお礼申し上げます。

沖縄はシンガポールから最も近い日本であり、手つかずの自然だけでなく、さまざまな文化が混在するユニークな場所です。世界自然遺産のやんばるや、透き通る青い海に囲まれ、まるで地上の楽園のような西表島など、魅力的な観光スポットに溢れています。

ここでしか味わえない、『日本であって日本でない』体験ができる沖縄をぜひ訪れてほしいと考えています」

日本政府観光局(JNTO)シンガポール事務所の白石拓也所長は、次のようにコメントをしました。
「しばらくの間を経てシンガポールと沖縄を結ぶ待望のフライトの運航が再開され、大変嬉しく思います。

好調なスタートとなり、シンガポールからさらに多くのお客さまが沖縄の魅力や日本のまだ知らぬ魅力を発見していただけるようになると確信しています」

■運航スケジュール

●沖縄(那覇)＝シンガポール線

便名	路線	運航曜日	定刻(現地時間)
3K792	沖縄(那覇)＝シンガポール	火・日	09:10 発 13:30 着
		木	09:25 発 13:45 着
3K791	シンガポール＝沖縄(那覇)	火・日	02:00 発 08:10 着
		木	02:15 発 08:25 着

【ジェットスターグループについて】

ジェットスターは2004年に就航して以来、国際線および国内線の路線網を拡充し累計で3億5000万人以上のお客さまにご利用いただきました。ジェットスターグループは、オーストラリアおよびニュージーランドのジェットスター航空(カンタスグループの子会社)、シンガポールのジェットスター・アジア航空、日本のジェットスター・ジャパンから構成されています。リーディングLCCであるジェットスターは、より多くの人々がより多くの場所へより頻繁にフライトできるよう、いつでも低運賃の提供に努めています。アジア太平洋地域で最も急成長しているブランドの一つとして、2021年にジェットスターはアジア太平洋地域の「ベスト・ローコスト・エアライン」に選ばれたほか、安全運航および高い運航品質が評価されエアライン・レーティングスが発表した「2022年世界のLCCトップ10」にも選ばれました。

【沖縄県シンガポール事務所について】

沖縄県シンガポール事務所は、2015年4月に設立されシンガポールを拠点として、東南アジア、オーストラリアとインドにて主に沖縄の観光と物産とPR、文化の発信等を行っています。

【日本政府観光局(JNTO)シンガポール事務所について】

日本政府観光局(JNTO)は、外国人旅行者の誘致活動を行う公的な専門機関です。主要な市場25か所に海外事務所を設定しており、シンガポール事務所は2006年に開所しました。日本へのインバウンド・ツーリズム(外国人の訪日旅行)のプロモーション以外にも、観光関係の統計や市場動向レポートの発行、インフォメーションセンターを通じた外国人旅行者向けサポートの提供、国際会議などの誘致促進なども行っています。詳しくは、シンガポール事務所のウェブサイトをご確認ください。

<https://www.japan.travel/en/sg/about-singapore-office>